

「第60回全国青年農業者会議」において 上田市の青年農業者が農林水産大臣賞を受賞しました

第60回全国青年農業者会議において、全国の農業青年クラブ員が行う活動、研究成果を発表するプロジェクト発表で、上田市で養豚経営を行う青年農業者が、畜産部門の最高賞となる農林水産大臣賞を受賞しましたので、賞状伝達式を行います。

1 賞名及び受賞部門

農林水産大臣賞 プロジェクト発表「畜産部門」

2 受賞者名

おがわ てつお

小川 哲生さん(32歳/上田市/上田農業青年会議所属)

2013年就農、2019年タローファーム代表取締役就任(3代目)

経営概況:養豚一貫経営、母豚240頭、肥育豚の年間総出荷頭数 約7,000頭

3 発表の概要

(1) 発表課題及び内容 「フォー・ファイブへの転換と経営改善」

養豚一貫経営における飼育方法を、連続飼育から繁殖母豚群を5グループに分け各グループを4週間隔で管理するシステム(フォー・ファイブ)へ転換することにより、生産性の改善に成功。農家から農業経営者としての意識転換のきっかけにもなり、新たなステップに向かう礎となった。

(2) 受賞のポイント(審査員コメント)

- ・経営方針の大転換を図り、経営改善につなげた成果を高く評価
- ・養豚業界への波及効果が期待できる素晴らしい取組で、更なる発展を期待

4 農政部長からの賞状伝達式

令和4年3月29日(火曜日)14時~14時30分 県庁3階特別会議室にて

5 その他

小川さんの発表動画は、全国農業青年クラブ連絡協議会のホームページ(下記URLまたは右のQRコード)からご覧いただけます。

<https://zenkyo4h.com/meeting/>



◆全国青年農業者会議

将来の日本の農業を支える青年農業者が、農業や農村生活環境の改善等に取り組んだ成果を互いに発表し、当面する問題の解決方法や将来を見据えた対策など、農業を取り巻く諸問題について討議・共有するため、全国農業青年クラブ連絡協議会の主催により昭和27年から実施。

令和3年度は、各ブロック(北海道及び地方農政局単位)を勝ち抜いた代表者28名が発表し、5部門で農林水産大臣賞が授与された。県内では平成29年度以来の受賞。

信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

農政部 農村振興課 担い手育成係
(課長) 飯島 和久 (担当) 松本 由紀
電話 026-235-7243 (直通)
F A X 026-235-7483
E-mail noson@pref.nagano.lg.jp

